

第4回かながわ商店街大賞 受賞商店街の取組み・成果

大賞（1団体）

団体名	六角橋商店街連合会：横浜市神奈川区
取組み・成果	<p>《昭和レトロのイメージを活かし、多彩なイベントを仕掛ける》 「商店街プロレス」など個性的なイベントで知名度をぐんぐん上げている商店街。昭和の面影を残す、約170店舗の商店で構成される駅前型の商店街で、メディアにもよく取り上げられている。</p> <p>18年前ほどは空き店舗ばかりの商店街だったが、平成9年に夜のフリーマーケットイベント「ドッキリヤミ市」を始め、古くて狭い通りをそのまま名物にしてPR。平成26年にはイベント開催100回目を迎え、今やライブパフォーマンス等で大いに盛り上がる地元の名物イベントに育て上げた。</p> <p>大日本プロレスとの連携による「商店街プロレス」は六角橋発祥で、横浜市内に広がっている。立地面等でのマイナスをプラスに変え、発展性のあるユニークなイベントを次々に仕掛ける取組みは、他の商店街の模範となっている。</p>

準大賞（1団体）

団体名	平間銀座商店街振興組合：川崎市中原区
取組み・成果	<p>《イベント継続35年！夏の縁日で地域住民と繋がる》 JR平間駅に広がる約500メートルの商店街であり、毎年夏休みの2か月間に「ひらまぎんざサマーフェスタ」を開催。7週連続で土曜日の夕方に行う縁日イベントを35年も継続している、底力のある商店街。</p> <p>縁日は商店街のメンバーのみで行い、毎回、趣向を凝らした40店舗が出店。毎週違う内容のイベントを組み、サンバパレードや地元ミュージシャンのライブなどを行う。さらに毎年、新しいイベントを入れて、飽きられない工夫も欠かしていない。</p> <p>町内会やPTAなども警備等で手伝いをしてくれるなど、地域住民の方々も全面的に協力してくれている。地域になくてはならない「こどもたちの夏」を商店街が担っており、商店としても売上が低下する夏の時期に行う販売イベントとして、売上アップにつながる好例。</p>

特別賞（2団体）

団体名	藤が丘商店会：横浜市青葉区
取組み・成果	<p>《カルチャー講座や「汁まつり」などの企画で、個店をPR》 田園都市線の藤が丘駅前に点在する商店でつくる商店会。集客型イベントではなく、お店に足を運んでもらうようなミニカルチャー講座や個店巡りのイベントを行い、新しい顧客開拓につなげている。</p> <p>商店街のメンバーも若く、ユニークなイベントの企画も多い。ミニカルチャー講座は、3年目で毎月から隔月で開催。「汁まつり」は、飲食店を巡り、汁物を食べ歩くと特典がもらえるスタンプラリー。</p> <p>個店の魅力を伝え、店主と地域住民の顔の見える取組みは、商店が点在しているタイプの商店街の模範になる。</p>
団体名	みどりとさくらの街さがみ野：座間市
取組み・成果	<p>《花いっぱいのエコな街づくりを、地域住民と一体となって行う》 相鉄線さがみ野駅前から広がる商店街の通りに30か所もの花壇を設置し、「さがみ野街のガーデン」として、地域住民と共に美しい街並みをつくり出している。</p> <p>一つひとつの花壇の管理を地域住民の方々をお願いする「里親制度」で、地域住民から商店街に愛着をもってもらうことに成功しており、「花いっぱいのエコな街づくり」として15年間も継続。その結果、空き店舗が無くなり、活性化の要因になっている。</p> <p>この活動は、地域の学校や老人会、米軍厚木基地、市役所などを巻き込んでさらに広がりを見せている。</p>